

会計人の教養



5

2017 MAY



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

19 18 17 16 15 13 12 11 10 9 8 6 5 4 3 2 1

金 木 水 火 月 土 金 木 水 火 月 土 金 木 水 火 月

春と太陽
滑舌
憲法記念日
自然の恩恵に感謝を
こどもの日
今すぐ始めよう
いい会社とは
武士道
先達に学ぶ
LINE
日本銀行
妖怪の正体
無知の恥
愚者は経験に学び、
賢者は歴史に学ぶ
M V N O
紫式部
信用

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

人は馬川れることによ、
感謝すべきことを不満の
種にしてしまうのだ。

学校掲示「今日の言葉」より

※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

31 30 29 27 26 25 24 23 22 20

水 火 月 土 金 木 水 火 月 土

胸に咲く桜
正義
アインシュタイン
制約理論
誕生日
民法
デイズニー
人同士の間にあるもの
DIY
協同組合精神

27 26 25 24 23 22 21 20 19 18

2017 MAY 平成29年 皐月[さつき]

第3巻5号(通算23号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫たちたる雲の細くたなびきたる。

清少納言の枕草子の冒頭部分です。このように、日本の四季では春が一番始めです。現在では、3月から5月が春とされています。これは、気象庁による区分で、私たちにとっては一般的なものです。しかし、旧暦による区分では、1月から3月をさしていません。昔の人は、一年で一番陽が短くなる冬至の日を太陽が生まれ変わる日とか太陽が蘇る日と考えていたようです。

そのため、太陽の生まれ変わった旧正月や現代の正月には、迎春、新春といった、春という言葉で新年を祝っています。

このように、私たちが何気なく見ている太陽には、大きな役割があったようです。現代でも、美容効果があったり、うつ病を予防するためにも日光浴が取り入れられているようです。私たちも太陽をうまく活用して生活しましょう。

今日の心がけ◆太陽を活用しましょう。

自分は滑舌がいい、そう自信を持って言える人は、少ないと思います。

しかし、どうやら滑舌をよくする方法があるようです。その中で最も有効な手段は、早口言葉です。それでは、早口言葉スタート。

- ・ 抜きにくいクギ 引き抜きにくいクギ
 - ・ お綾や 親に おあやまり お綾や 八百屋に おあやまり
 - ・ 隣の囲炉裏も黒塗り 囲炉裏だが おらが囲炉裏も黒塗り 囲炉裏に相違ござらぬ
 - ・ 生麦生米生卵 なた豆七粒 生米七粒 七粒なた豆 七粒生米
 - ・ この竹垣に 竹立てかけたのは 竹立てかけたから 竹立てかけたのです
- 最初の練習では、口が筋肉痛になることもあると思いますが、慣れるにつれて表情筋も鍛えられるため、顔の表情も良くなるようです。

早口言葉を練習して、アナウンサーのようにスラスラ話せるようになりたいですね。

今日の心がけ◆滑舌のトレーニングをしましょう。

※1つずつ交代して読む

5月3日は「憲法記念日」です。「憲法記念日」は、1948年に「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する日」という目的で制定された、国民の祝日です。

憲法の内容は、「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」という三つの柱を持っており、特に憲法9条の「戦争放棄」は平和憲法として有名です。

1948年に生まれた子供には、「憲司」・「憲太郎」や「憲子」といったように、子供の名前に「憲」の字を入れることが多かったようです。なぜなら、新憲法に対する熱い思いが国民にあったからです。

そして毎年、この日が近づくと、学校によっては「憲法について」の授業が設けられるところがあります。

この機会に、日本国憲法について、改めて考えてみるのはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆「憲法」について、考えましょう。

自然の恩恵に感謝を

若葉の緑が目にしみる季節、世間はゴールデンウィークで賑わっています。ゴールデンウィークを構成する祝日の中で、この季節にぴったりの祝日が、5月4日のみどりの日です。

みどりの日は、平成元年に制定された祝日であり、それ以前は昭和天皇の天皇誕生日とされていました。昭和から平成に変わる際、天皇誕生日は12月23日に改められました。が、ゴールデンウィークの一角を構成する祝日を廃止することによる国民生活への影響を懸念して、4月29日をみどりの日と改めました。その後、祝日法改正により、平成19年以降、みどりの日を5月4日に移動し、4月29日を昭和の日とすることになりました。

みどりの日は、「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ」とを趣旨としています。そのため、みどりの日には、各地で自然に親しむための行事を開いています。

しかし、最近では、ゴミのポイ捨てや、人為的な環境破壊など、自然から得られる恩恵に感謝する人が少なくなってきたようにも感じます。

私たちは自然に生かされており、自然の恵みである食材から、生きる力を頂いています。今日を機に、今一度自然のありがたみに感謝してみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆自然を大切にしましょう。

みなさんは、こどもの日の目的をご存じでしょうか。

こどもの日は、1948年に国民の祝日法によって定められ、古来から端午の節句として、男の子の健やかな成長を願う行事が行われていました。

例えば、兜は災いから守ってくれるよう願いをこめて、鯉のぼりはこどもに立派に育ってほしいとの思いから飾られていたようです。このような思いもあり、現在でも、兜や鯉のぼりを飾っている家庭がたくさんあるのです。

しかし、それだけではありません。それは、母親に感謝するという日でもあるのです。こどもの日には、こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝すると定められています。ここに母親が入れられているのは、自分の命を懸けて新たな命を生み出す、母親への感謝が込められているのかもしれない。

このことから、親は子を、子は親を思い、お互いに尊重しあうことが、本来のこどもの日の在り方ではないでしょうか。

今日の心がけ◆感謝の気持ちを持ちましょう。

今すぐ始めよう

みなさんは、社会人の方から、「学生時代にもっと学習しておけばよかった」と、聞いたことがあるのではないでしょうか。

私も、就職活動が始まり、日商簿記や情報処理などの受験資格を取得できていないため、採用試験を受けたくても、受けられないことがありました。

私は、今までの学生生活を振り返って、もっと必死に学習しておけばよかったと後悔しました。

しかし、いくら後悔しても過去には戻れません。

この経験から、二度と同じ後悔をしないためにも、課題が見つかったら、すぐに始めるように心がけています。

今日の心がけ◆今すぐ始めましょう。

みなさんは、伊那食品工業株式会社という業務用寒天メーカーをご存知でしょうか。伊那食品工業株式会社は、本社が長野県にある中小企業です。不景気により、経営の前途に不安を抱く企業が多い中、地理的にも決して恵まれているわけでもないのに、4年間増収増益を達成しました。

毎年着実に成長する伊那食品の経営姿勢に関心を抱く人々は多く、帝人やトヨタグループなど、日本を代表する経営幹部たちが見学に訪れるほどです。

取締役会長の塚越寛さんは、売り上げや利益の数字を追求せず、「いい会社をつくりたい」という一点を大切に頑張ったことで、成長し続けることができたとおっしゃっています。

また、社員を家族の様に考え、社員が幸せになれる会社を実現した塚越会長の人間力こそが、ここまでの素晴らしい企業に成長した要因ではないでしょうか。

今日の心がけ◆**努力を積み重ねましょう。**

吉田松陰が最後に遺した書物である「留魂録」に、次の一説があります。

「義卿三十、四時已に備はる、亦秀で亦実る、其の秕たると其の粟たると吾が知る所に非ず。若し同志の士其の微衷を憐み継紹の人あらば、乃ち後來の種子未だ絶えず、自ら禾稼の有年に恥ぢざるなり。同志其れ是れを考思せよ。」

これは、「三十歳で死んでしまう私の人生に実りがあつたかどうかはわからないが、同志たちが私の志を継いでくれるのなら、何も恥じることはない。志は死とともに消え去るものではないのだ。」という意味です。

松陰は三十歳の時、死を目前にしながらこの「留魂録」を書きました。「あれもやりたかった、これもやりたかった」などとただ死を嘆くのではなく、「自分の人生にいま実りの次期がめぐってきた」と心静かに死を受け入れていることがわかります。「自分の人生の実りが粉殻でも、粉でも、どうでもいいということ。ただ、志という種を同志に受け継いでほしい」と願ったのです。松陰はそこに「肉体は死んでも、志は次代へと繋がれ、やがて豊かな実を結ぶ」という確信があつたのです。

自分が三十で死んでも、志という種子を受け継ぎ、育て、実らせててくれる者がいる。短命であろうと、長生きした者に何ら引けをとらない実りが得られるということ。だから、松陰は死を惜しまなかつたのではないでしょう。私たちも、このような不滅の志をもって、社会に貢献できる「人財」になりたいものですね。

今日の心がけ◆武士の志を学びましょう。

戦後、日本は製造業を軸とした高度経済成長期に突入し、日本経済は発展しました。この高度経済成長期の最中に発表・施行されたのが原価計算基準です。

原価計算基準は、昭和25年に大蔵省企業会計審議会第四部会が研究に着手し、約12年の歳月をかけて作成されました。この間、草案作成のみならず、各関係団体並びに会計学者からの意見聴取などが繰り返されました。

原価計算基準は施行以来、一度も改正が行われていません。その理由の一つとして、実務に即した規定であることが考えられます。大蔵省は、各企業が行っている原価計算を調査し、まとめました。

また、企業会計原則が要求する財務会計的要素のみならず、原価管理や予算管理など、管理会計的要素も含まれています。原価計算基準は、企業会計原則にはない管理会計的要素を可能な範囲で取り入れた基準であると言えます。

先達の方々は、時代の変化に対応し、企業の維持、発展、繁栄に繋がると考えて原価計算基準を作成しました。私たちも、将来を見据えて日々の学びに精進したいものですね。

今日の心がけ◆将来を考えた学びをしましょう。

LINEの活用方法として、「メモ機能」があります。LINE使用者のうち、この機能の使用率は20%と言われています。

しかし、その機能はもともとLINEに設定されているわけではありません。友達追加からグループ作成を選択し、友達を追加せず、そのまま保存します。そうすることで、「一人グループライン」を作り出す事ができます。

「一人グループライン」の使用方法は、人それぞれです。メモとして使用する人もいれば、アイデアストックとして使用する人もいます。トークとして残りますが、人に見られることがなく、いつも言葉にできない気持ちを掲載することで、ストレス発散としても使用できるかもしれません。

他にも、既読をつけずに読む方法や、隠しメッセージを送る方法など、みなさんの知らない様々なLINEの使い方があります。

同じ方法でLINEを使用するだけではなく、新しい使用方法を探してみるのも楽しいのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆LINEを楽しく使いましょう。

みなさんは、日本銀行についてどのくらいご存知ですか。

日本銀行とは、日本唯一の中央銀行として、資本金は一億円で、そのうち政府が5%、45%を民間が出資している、政府から独立した法人です。

主な役割としては、「発券銀行」「政府の銀行」「銀行の銀行」の3つです。また、その他にも物価の安定と国民経済の発展のために、市場に出回るお金を調整する金融政策も行っていきます。

現在は、日本銀行が国債を大量に買い入れ、市中に通貨を増やすことで通貨の価値を下げ、物価上昇を目指すことで、デフレから脱却しようと考えています。しかし、マイナス金利を導入するなど、なかなか思うような金融政策ができていない現状があるように思えてなりません。

このことから、今後の日本の経済状態は不透明な状況です。だからこそ、私たち国民一人一人が、しっかりと意識を向けることが大切なのではないでしょうか。

今日の心がけ◆日本経済に興味を持ちましょう。

みなさんは、不知火を知っていますか。

不知火は、九州に伝わる怪火の一種で、主に八代海や有明海に出現すると言われています。海岸から数キロメートルの沖に、始めは一つか二つ、親火と呼ばれる火が出現し、最終的には数百から数千もの火が横に並び、その距離は4キロから8キロにも及びます。この不知火に近づくことはできず、近づくと火が遠ざかっていくことから、昔は龍神の灯火といわれていたようです。そのため、付近の漁村では、不知火の見える日には漁に出ることを禁じていました。

しかし、大正時代に入ると、今まで妖怪といわれてきた不知火を、科学的に説明しようとする動きが高まり、蜃気楼の一種であることが明らかになりました。

このように、不思議な現象を感じても、いざ調べてみると、何らかの原因があります。みなさんも、疑問を持ったならその原因を探ってみましょう。必ず解決の糸口が見つかります。

今日の心がけ◆原因を探しましょう。

日本の政治の枠組みは、国会（立法府）、内閣（行政府）、最高裁（司法府）の三権が互いに抑制し合い均衡を保つ、三権分立の体制で成り立っています。

なぜ、権力を分散させる必要があるのでしょうか。それは、権力が一つに集中してしまおうと、その権力を乱用してしまうからです。これは、国の政治にだけ言えることではありません。株式会社の経営においても同じことが言えます。

株式会社の機関構造は、株主総会、取締役会、代表取締役、監査役などからなり、抑制と均衡による適切な会社運営（機関の分化）を図っています。

しかし、現代における機関の課題として、「所有と支配の分離現象」と「株主総会の無機能化」があります。そのため、株主支配であるべき株式会社で、株主支配から経営者支配になってしまい、機関の分化のねらいである適切な会社運営は機能しないことになってしまいます。

このように、勉強していないとわからないことは、世の中に沢山あります。自分が知らないことを恥として、日々の学びを深めていきたいものです。

今日の心がけ◆**会社法を学びましょう。**

歴史を学ぶことは、本当に大切なことです。では、三国志を例に考えてみましょう。

三国志の中でも重要な位置づけに「官渡の戦い」があります。「官渡の戦い」とは、群雄割拠かつぎよの時代に、曹操孟徳そうそうもうとくが、自分たちのほぼ十倍の兵力を擁する敵、袁紹えんしやうの軍に勝利した戦いです。この戦いは、啓発本などにも、数多く引用されています。

それは、曹操がこの不利な状況で勝つことができたのを知ること、自分が抱えている問題を乗り越えるヒントが隠されているかもしれないからです。

このように、私たちは歴史の成功者から学ぶことで、結果を出す事ができるのではないかと思います。しかし、重要なことは、敗者の立場からも考えることです。なぜ負けたのか。失敗したのか。この原因を知ること、私たちが思い悩んだ時に、解決の糸口になると感じています。

そのためにも、歴史を学ぶ際には、成功だけでなく、失敗から学ぶことも大切なことではないでしょうか。

今日の心がけ◆歴史を学びましょう。

MVNOとは、仮想移動体通信事業者のことです。これは、ドコモなどの回線を使って、他社が提供する安い通話通信サービスのことを意味しています。これにより、新しい料金プランを設定することができるようです。

つまりMVNOとは、ドコモ・au・ソフトバンク以外の会社が、今までにない新しい料金プランを商品化して提供してくれるのです。

例えば、So-netの提供するPLAY SIMは、最も安くて月額基本料金は880円です。また、NTTぷららモバイルLTEは、2,980円と格安な値段設定になっています。このような、安く、様々なプランがあることを知っておくだけでも、今後役に立つことがあるのではないのでしょうか。

これからは、MVNOのような、新たな価値を生み出す創造力が必要になってくると感じています。

私たちも、現状をしっかりと理解し、今ある価値観だけではなく、新しい価値観を持つことで、今まででは考えられなかった新しい発見を、見つけることができるかもしれません。

今日の心がけ◆**新たな発見を見つけてみましょう。**

みなさんは、平安時代の長編物語「源氏物語」の作者と言われている紫式部をご存知でしょうか。

彼女は、美女かつ才女であり、詩人であった父の影響で、幼少期からその素晴らしい才能を発揮していたと言われています。

その彼女の名前が由来となっている「紫式部」という花があります。その花は、紫色の実をびっしりとつけることから、紫敷実と呼ばれていましたが、江戸時代の植木屋が、その花の美しさから紫式部と呼び、その名が定着していったとの説があります。

紫式部の花言葉は、聡明、上品です。これも美しい紫色の実を、美女として名高かった紫式部にたとえて名付けたようです。

聡明とは、賢いという意味です。しかし、ただ勉強するだけでは、聡明な人とは言えません。聡明とは、その人の経験、知性、思慮深さ、そしてそれを引き出す素早さのことです。私たちも、心を磨き、しなやかさを身につけ、聡明な人財を目指しましょう。

今日の心がけ◆聡明な人になりましょう。

東芝は、粉飾決算をきっかけに、世間の「信用」を大きく失いました。

二度決算発表を延期したにもかかわらず、監査法人の承認なしという異例の決算発表をしました。

監査法人は、公平かつ中立的な立場から、深度のある監査を実施します。

つまり、この監査法人の承認がないと「信用」でできる財務諸表とは言えないのです。

そのため、監査法人の承認を得ていないことは、きわめて異例の事態であり、東芝に対する不信感はさらに高まる可能性があります。

他者に信用してもらうことは容易ではありません。築き上げた信用は一瞬で失うこともあります。私たちも、自身の行動や言動に責任を持ち、信頼されることが本当に大切なことだと思います。

今日の心がけ◆自分の行動や言動に責任を持ちましょう。

金色の輪の中に桜。これは、税理士バッジのデザインです。外側の輪は、日を追って限りなく隆昌することを意味して、日の丸を表し、その中に日本の国花である桜を模っています。

そもそも、税理士の使命は「独立した公正な立場から、納税義務者の信頼に応え、適正な税金の徴収を図ること」です。「税金を集め、国民の健康で豊かな生活を実現する」という、国の基盤となる仕組みを支えるのが税理士なのです。

しかし、現実には、税理士として懸命に働く多くの人たちがいる一方で、脱税関与などの問題が起きているのも事実です。

「税理士」を目指し学んでいる私たちにとって、知識を正しく扱える優れた人間性身に付けることは、税法などの知識を得ることと同じく重要なことでしょう。また、税理士を目指していない人も、同じ簿記会計を学び税金を納める者として、同じことが言えるのではないでしょうか。

将来税理士バッジを付ける者として、バッジが持つ「日本を表す桜を胸に掲げ、日本の繁栄のために働く者」という意味に恥じぬよう、自覚と誇りを持って学びたいものです。

今日の心がけ◆よく学び、人間性を磨くことを意識しましょう。

あなたは、何を『正義』と捉えますか。

幼い子供が大好きなアンパンマン、このアニメは、アンパンマンがみんなを助けられるヒーローいわば正義なのです。しかし、バイキンマンから見ると、『我こそが本当の正義だ』と考えているのかもしれない。

確かに、バイキンマンは、人間社会になくってはならないのです。人間が無菌状態で生活することは考えられません。バイキンマンがいなくなると、人間は絶滅するのです。そのため、アンパンマン対バイキンマンの闘いは、バランスを保ちながら永遠に続いていくのです。

このように、正義とは、人それぞれの捉え方で違うため、人それぞれの様々な正義があつていいのではないのでしょうか。

私たちも、自分なりの正義を持ち、他人の考えも受け入れられる人になりたいものですね。

今日の心がけ◆正義について考えてみましょう。

アルベルト・アインシュタインは、誰もが知っている理論物理学者です。彼の言葉に「蝶はモグラではない。でも、そのことを残念がる蝶はいないだろう。」という名言があります。

しかし、いくら「自分は自分だ」と思っているとしても、私たちは無意識のうちに他人と比べてしまうものです。人よりも優れていると自信を持ち、人よりも劣っていると自分を追い込んでしまう生き物です。そうして、その優越感や劣等感に飲み込まれてしまうのです。

ただ、そのことは、決して悪いことではないと思います。その気持ちがあるからこそ頑張ることができ、強くなることもできるからです。

このように、誰かと比較することをやめることは難しいですが、自分が何のために頑張っているのかを意識することが大切です。

そして、なりたい自分に向かって一步一步、一つ一つの困難を乗り越えていきましょう。

今日の心がけ◆「何のために」を考えましょう。

制約理論とは、イスラエルの元物理学者であるエリヤフ・ゴールドラット氏の著書「ザ・ゴール」にて紹介された、製造現場における生産管理手法です。発表当時は、単なる生産管理の手法とされていましたが、後に、会計手法の一つであるスループット会計を生み出すきっかけとなった考えです。

ゴールドラット氏は、本書の中で「企業の目的は、現在と将来にわたってお金を儲けることである。」と定義し、その目標を達成するために企業で重要なのは、「販売をする」、「在庫を残さない」、「販売に必要なコストを削減する」と述べています。当時は、製造現場の経験が一切なく、物理学者としての意見であったため、賛同を得られないことも多々ありました。

しかし、実際にこの考えを導入した企業の業績が大幅に改善され、世界の生産管理や、サプライチェーン・マネジメントに、多大な影響を与えたとされています。

ゴールドラット氏の生み出した制約理論は、スループット会計という形で、今も製造現場に必要とされています。会計人ではないゴールドラット氏だからこそできた、逆転の発想だったのではないのでしょうか。

制約理論は、製造現場だけではなく、私たちの日常生活にも当てはまる考え方です。私はこの著書を読み、自分の日常生活における制約は、起床時間だと考えました。その後は、これまで起床していた一時間前には起床し、簿記の学習に専念できるようになりました。みなさんも、自分の生活を見直し、制約を見つけ出すことで、より良い日々を過ごせるようになるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆自分の制約を見つけ出しましょう。

現在では、個人の誕生日をお祝いすることは一般的になっていますが、もともと日本には、誕生日をお祝いする習慣がありませんでした。昔は「数え年」で年齢を数えることが普通で、お正月がくるとみんな一斉に年をとっていたためです。

日本で誕生日が祝われるようになったのは、「年齢のとなえ方に関する法律」が制定されてからだと言われており、今では、周囲の人にお祝いをしてもらうのが一般的になっています。

しかし、視点を変えれば、母親が痛みを耐え抜いて自分を産んでくれた日でもあるのです。自分の生まれた日に、一番大変な思いをしたのは母親なのです。

誕生日だからこそ、母親に、どれくらいの重さだったのか、元気だったのかなど、生まれた時の様子を聞いてみてはいかがでしょう。

そして、誕生日には、自分を産んでくれた母親に対して、感謝の気持ちを持ちましょう。

今日の心がけ◆母親に感謝しましょう。

民法とは、人間関係を円滑に収めるための法律です。

例えば、A社がB社に貸借権を渡し、その後、B社は無断でC社にその権利を譲渡し、今はC社が貸借権を持っているとします。何も知らないA社は、その事実を知った時に、「B社だから信頼して貸したのに」となってしまいます。

この問題に対する基準が、民法なのです。民法上では、「権利を無断で第三者に譲渡することはできない」となっています。そのため、この場合のC社の権利は無効となります。

また、父親が亡くなった場合、父親が持っていた財産を、奥さんと子供がどう受け継ぐかなどの身近な遺産相続の問題に対しても、民法を基準として解決しています。

この法律がなければ、大幅な恣意性が介入し、正しい判断が出来なくなるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆民法を学びましょう。

「夢と魔法の王国」このフレーズを一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。ディズニーランドは開園以降、入場者数を伸ばし続け、現在でも世界第三位の入場者数を誇ります。

ディズニーの魅力はテーマパークだけではなく、映画にもあります。毎年のように新作を出し、その映画に出てきたキャラクターなどをディズニーランドにも登場させていきます。

このように、様々なアイデアを用いてゲストを楽しませることで、ディズニーランドの来場者数を保っています。

ディズニーの生みの親、ウォルト・ディズニーは生前こんな言葉を残しています。「ディズニーランドが完成することはない。世の中に想像力がある限り、進化し続けるだろう。」

今日の心がけ◆成長し続けましょう。

「人間は万物の尺度である」これは、古代ギリシアの哲学者であるプロタゴラスの言葉です。彼は、人間の感覚が人によって異なるという経験的事実から出発し、何が正しく、何が間違っているかなどの判断は、人によって異なるという相対主義を主張しました。このように、人間の定義については、数多くの哲学者が研究してきました。

ここで私は、「人間とは、ジグソーパズルの1ピース」だと定義付けたいと思います。なぜなら私たちは、この世に生を受け、現在に至るまで、完全に一人で何かを成し遂げられたことなど一つもないからです。必ず誰かの支えがあったと思います。

これを踏まえると、人間とは支えあう生き物だと考えます。そのためには、個々の人間力を高める必要があります。

それについて、東京大学教授の市川伸一氏は、「人間力とは、社会を構成し運営すると共に、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義しています。

まさしく、他人を支えるためには、まずは自分が自立しないといけないということになります。このように、自分が自立することで、他の人も支えることができるようになるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆人間力を高めましょう。

DIYとは、Do It Yourselfの略語で、自分で何かを作ったり、修理したり、装飾したりする活動のことです。材料を買って自分で作ることで、コストが安く済み、オリジナルの作品をつくるのが出来ます。

DIYは、モノだけでなく、人生そのものにも当てはまります。

チャールズ・M・シユルツの描いた漫画ピーナッツに出てくるキャラクターの言葉に、「僕の人生は塗り絵みたいだ！毎日新しいページに新しい絵があつて色を塗るんだ」というフレーズがあります。人生を塗り絵に例えるならば、人によって、使っている色も書いている絵も違ってきます。そこには、自分らしさというものが沢山詰まっているのです。

私たちは、まだ20年しか生きていません。これから、人生という名の塗り絵に、自分なりの色を塗っていきましょう。

将来人生を振り返った時に、どのような色が塗られ、どのような絵が描かれているのでしょうか。自分の理想となる作品ができるといいですね。

今日の心がけ◆人生という作品を創りましょう。

J Aをはじめとする協同組合には、相互扶助の精神があります。

相互扶助とは、一人はみんなのために、みんなは一人のためにという考えに立って、お互いに助け合うことです。

人間は、社会というコミュニティの中で人と人との支え合いで生きています。例えば、食事をする時は、農家を作った野菜や漁師の獲った魚などを食べています。

相互扶助の精神が顕著に表れるのは、困難にぶつかった時だと思っています。1年前に起こった熊本地震では、甚大な被害を受けました。水不足や食糧不足で不安な中、近所の人と情報交換を行い、水や食料を分け合い、他県からも多くの支援をいただくことで、元の生活に戻ってきました。

学生である私たちが誰かのためにできることは少ないです。むしろ、与えられていることの方が多いいと思います。その中で、自分に何ができるのかを考え、少しでも誰かのために役に立つことをしていきたいですね。

今日の心がけ◆相互扶助の精神を持ちましょう。